



カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム） （アメリカ、日本語弁論大会招へい陣）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国より大学生 9 名が、2017 年 1 月 9 日～16 日の 7 泊 8 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。省庁講義、歴史的建造物視察、学校交流、ホームステイ等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を生かした帰国後のアクションプラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

アメリカ 9 名

【訪問地】

東京都、千葉県

2. 日程

- 1 月 9 日（月） 成田国際空港より入国
- 1 月 10 日（火） 【オリエンテーション】
【講義】 外務省北米局「日本の外交政策」
【表敬訪問】 官邸訪問（萩生田内閣官房副長官）
【最先端技術】 千葉工業大学スカイツリータウンキャンパス
- 1 月 11 日（水） 千葉へ移動
【自然・歴史文化】 鋸山・日本寺
【視察】 道の駅保田小学校（鋸南町）
【自然体験】 水仙摘み体験（佐久間ダム周辺）
【ホームステイ】
- 1 月 12 日（木） 【表敬訪問】 鋸南町役場
【文化体験・交流】 坐禅体験・鏡開き見学（臨済宗建長寺派 大智庵）
- 1 月 13 日（金） 【学校交流】 神田外語大学
都内へ移動
- 1 月 14 日（土） 【文化体験】 着物着付け
【歴史的建造物】 浅草寺・仲見世
【歴史文化】 江戸東京博物館
【都内視察】 お台場視察
- 1 月 15 日（日） 【都内視察】 築地市場
【最先端技術】 HONDA ウェルカムプラザ青山
【ワークショップ】
- 1 月 16 日（月） 【都内視察】 東京都庁
【報告会】
成田／羽田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

東京都



1/10【講義】外務省北米局（東京都）



1/10【表敬訪問】官邸訪問（萩生田内閣官
房副長官）（東京都）



1/10【最先端技術】千葉工業大学スカイツ
リータウンキャンパス（東京都）



1/13【学校交流】神田外語大学（千葉市）



1/14【歴史的建造物】浅草寺（東京都）



1/16【報告会】（東京都）

地方プログラム 千葉県鋸南町



1/11【自然・歴史文化】鋸山・日本寺（鋸南町）



1/12【表敬訪問】鋸山町役場（鋸南町）



1/12【文化体験】大智庵・座禅体験（鋸南町）



1/12【交流】大智庵・鏡開き法要（鋸南町）



1/13【文化体験】甲冑体験（鋸南町）



1/13【ホームステイ】歓送会（鋸南町）

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ アメリカ 大学生

学校交流について：人と人との絆はとても強いです。神田外語大学の学生とは初めて会いましたが彼らはとても親切で私たちを外国からの単なる客としてではなく、本当の友人のように接してくれました。とても感動しました。

ホームステイについて：私のホストファミリーは本当の家族のようでした。お母さんは私の生活の細かいところまで世話をしてくれました。彼らは、私に訪問客ではなく、ここに住み、体験し、楽しませようとしてくれました。いつでも気にかけてくれ、私は自分の家に居るようでした。彼らが私たちに、本当に日本を好きになるよう日本での生活を楽しませようとしていたことを、私は心から理解しました。

◆ アメリカ 大学生

外務省の発表者から、栄える国はハードワークのもと生まれるという考えが紹介されました。第9条をめぐる議論や、ユートピア平和主義者、現実的平和主義者について説明を受け、大衆が国の平和に影響を与えることを理解しました。彼の素晴らしい講義から、日本の歴史、政治、経済について多くを学びました。

ホストファミリーはとても親切に私たちを受け入れてくれ、日本のおもてなしに心を奪われました。そして、滞在を通して、私は、いかに日本人がニュースを見てアメリカのすべて動向を知っているか、ということを知りました。

鋸南の街歩きでは、いかに日本社会が早いスピードで変化を遂げているのか、特に、いかに多くの若者が仕事を求めて田舎を離れ、都会に移り住むのか、ということ学びました。このことから、日本の田舎の町では、働く場所が足りないことで生活することが難しいということを理解することが出来ました。鋸南町の住民のみなさんは、親切に、そして専門的に日本を紹介してくれました。

着物、座禅、甲冑体験から、クール・ジャパンは日本の歴史・文化の中もあるということを知りました。このような日本の文化はとても魅力的で、日本は高層ビルやアニメ、ロボットだけではない(もちろんこれらはとてもかっこいいですが)ということを見せることは良いことだと思います。

◆ アメリカ 大学生

私は着物体験を楽しみました。本当に日本の文化に浸ることが出来ました。着物を着て仲見世やお寺を参拝することをほかの人にも勧めたいと思います。

鋸山のハイキングは日本の自然、山々、森などを体験する素晴らしい機会でした。都市を体験することも大切ですが、それは日本の一部にすぎません。日本にはとても豊かな自然景観があることを知りました。

日本は技術開発の先進国なので、日本の技術の体験も面白かったです。博物館や寺院の訪問により豊かな歴史を体験できたことも良かったです。

5. 受入れ側の感想

◆ 学校交流参加大学生

授業の初めに彼らが自身について日本語でスピーチをしてくれたのを聞き、とても感心しました。彼らは、自分の学んだ言語である日本語を流暢に話し、日本の政治や経済に関しても多くのことを知っていました。そして、日本の優秀な大学に留学することを念頭に置き、学びにとても意欲を示していました。彼らの姿を見て、私は自分の大学四年間を振り返り、自身の知識量の乏しさを情けなく思いまいした。しかし、彼らとの交流は社会人になるに向けて、もっと自分の国について勉強しよう、英語にも力を注ごうと私の意識に影響を与えてくれました。

交流では、学校内のコミュニケーションについて話し合いました。敬語を使用しない国では、先生や先輩だからと言って大きく異なる対応をすることなく接するという説明に驚きました。先輩、後輩の関係では、暗黙のルールというものがあるという話をしましたが、アメリカにも暗黙のルール *unwritten rules* という言葉や習慣があることを学びました。

◆ 学校交流参加大学生

ジェンダーという言葉及しにくい話題にどこまで込み入った意見が聞けるのかという不安もありましたが、参加者側はこれまでの経験をもとに話をしてくれたので安心しました。

特に女性の社会進出と社会的地位についての意見は興味深く、性別によって制限を受ける職業がないことや、女性の方が給与の受給額が平均的に高くなっていることには特に衝撃を受けました。また、公共に見られる「女性専用〇〇（車両・バス・エレベーター）」について話し合ったところ、どの学生も女性専用施設の設置に反対意見を示しました。女性専用が日本では女性の保護のために作られている一方で、アメリカではそれが女性蔑視になり男性からのみならず、女性からも批判されると説明がありました。日本人側の私たちも、最終的に、この意見には賛同する結果となりました。

日本の文化体験では、日本の文化として「折り紙」の体験コーナーを設け手裏剣や鶴など基本的なものを作りました。「見たことはあるけれど、実際に作ったのは初めて」という学生ばかりで難しいといいながら楽しんでいる様子で制作していました。また折り紙は手を使いながらおしゃべりも楽しめるので、制作しながらお互いの学校生活のことや、日本文化や日本語に興味を持って勉強している理由など、ディスカッションだけでは聞くことのできなかった話題についても話を膨らますことができ、非常に有意義な時間となりました。

◆ ホストファミリー

地方にいと海外の方と関わる機会はほぼないので、とてもよい機会になりました。特に子どもたちにとって良い刺激になったかと思います。座禅体験にも一緒に参加しましたが、貴重な体験で国籍が違うみなさんとご一緒することで新たな気づきに繋がりました。また機会があれば受け入れたいです。

6. 参加者の対外発信

 Joe Chey 1月10日 · 高松市 · 高松市 One response to the 少子高齢化 (decreasing youth, increasing age) problem is to modify existing elementary schools in a visitor-friendly way. 翻訳を見る いいね! コメントする シェアする あなたと他3人 コメントする...	 Able Zhangさんが写真9件を追加しました — Joe Cheyさん、他7人と 神田外語大学にいます。 1月13日 · 千葉県千葉市 · 千葉市 日本で、いつも優しい人に会う。.. I have always been meeting kind people in Nihon. #kakehashi #KUIS #百人一首 #ありがとう
少子高齢化問題への対応策として、廃校になった小学校を訪問者に優しい形でリノベーションして活用している。	日本では、いつも優しい人に会う。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

 “KIZUNA” IS BEING INHERITED WITHIN THE CULTURE 「絆」は日本文化の一部としていつも継承されている	アメリカでの戦略 ・発表する！ <table border="1"> <thead> <tr> <th>小さな日本語のデパート(ウェス、メル、ジョー)</th> <th>大きな日本語のデパート(グラント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本に興味を持っている学生に経験について発表する。 (日本の魅力を高めるために)</td> <td>興味を持っている人がいっぱいなので、経験の話を語るよりも、経験について発表して、日本まで行ける機会を紹介する。</td> </tr> </tbody> </table>	小さな日本語のデパート(ウェス、メル、ジョー)	大きな日本語のデパート(グラント)	日本に興味を持っている学生に経験について発表する。 (日本の魅力を高めるために)	興味を持っている人がいっぱいなので、経験の話を語るよりも、経験について発表して、日本まで行ける機会を紹介する。
小さな日本語のデパート(ウェス、メル、ジョー)	大きな日本語のデパート(グラント)				
日本に興味を持っている学生に経験について発表する。 (日本の魅力を高めるために)	興味を持っている人がいっぱいなので、経験の話を語るよりも、経験について発表して、日本まで行ける機会を紹介する。				
今回繋がった人々との絆を保っていく。継承される日本の文化と同様、この絆のネットワークも日本語を勉強する後輩たちやこれから日本に行きたいと思っている人々に大切に受け繋いでいく。	アメリカでの日本の魅力を高めるために、2つのアプローチで日本を紹介する。一つは身の回りの日本に興味がある学生に経験について語る。もう一つは、公の場で日本での経験についての発表の機会を作り、日本で学ぶ機会等について紹介する。				